



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月4日

上場会社名 アークランズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 9842 URL <https://www.arclands.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長（COO）（氏名）坂本 晴彦
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長（氏名）伊野 公敏 TEL 048-610-0641
半期報告書提出予定日 2024年10月4日 配当支払開始予定日 2024年10月21日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	159,153	0.6	10,178	14.7	10,166	12.7	6,278	△10.4
2024年2月期中間期	158,271	△1.0	8,876	△25.1	9,017	△26.9	7,010	△5.3

（注）包括利益 2025年2月期中間期 6,586百万円（△15.7%） 2024年2月期中間期 7,815百万円（△11.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	100.77	—
2024年2月期中間期	172.85	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期中間期	361,523	122,158	33.6	1,951.67
2024年2月期	350,721	116,810	33.2	1,866.13

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 121,588百万円 2024年2月期 116,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2025年2月期	—	20.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	315,000	1.4	18,500	14.8	19,000	14.5	12,000	31.5	192.59

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年2月期中間期	64,733,372株	2024年2月期	64,733,372株
2025年2月期中間期	2,433,599株	2024年2月期	2,424,578株
2025年2月期中間期	62,301,889株	2024年2月期中間期	40,557,567株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
3. その他	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年3月1日から2024年8月31日まで)におけるわが国経済は、経済活動の正常化とインバウンド消費の拡大に支えられ、回復基調を維持しています。しかし、ウクライナ情勢の長期化や中東地域の緊張による原材料価格やエネルギー価格の高止まり、さらには急激な為替相場の変動が重なり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

加えて、中国経済の減速による国内企業の輸出及び生産活動への影響や、国内の金融市場における金利上昇の動きも経済全体への波及が懸念されます。

このような環境下、「くらし、満たす。こころ、満たす。」をスローガンに掲げる当社グループは、主力とする住関連(小売、卸売、不動産)と外食の両事業を深耕・発展させ、消費者の生活により近い形で網羅的な商品、サービスの提供に努めて参りました。

その結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高及び営業収入は166,387百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益は10,178百万円(前年同期比14.7%増)、経常利益は10,166百万円(前年同期比12.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は6,278百万円となり前期の固定資産売却益による影響で前年同期比10.4%減となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①小売事業

小売業界におきましては、雇用・所得環境の改善が進む一方で、物価上昇やエネルギー価格の高騰が消費者の生活防衛意識を高め、消費行動は慎重さを増しています。加えて、人件費や物流コストの上昇、さらにはオンラインショッピングや他業態との競争激化も、業界全体にとって厳しい環境をもたらしています。夏季における猛暑や天候不順も、需要変動に影響を及ぼしました。

このような環境下、小売事業主力のホームセンター部門におきましては、品目別では、リフォームサービス、園芸用品が苦戦した一方、日用消耗品、夏物家電類の需要が増加した家庭用品が好調に推移しました。

また、8月は南海トラフ地震臨時情報による地震への警戒の高まりや大型台風の接近の影響により防災関連用品の需要が増加しました。

ホームセンターの8月末の店舗数は、スーパーセンタームサシ長岡店(新潟県長岡市)の移転増床と2店舗の閉店をした結果、2店舗減少し141店舗となりました。

この他、前年下期に行った価格改定により売上総利益率が改善したことに加えて、販売費及び一般管理費については新規出店コスト、人件費単価、エネルギー価格の上昇等があったなか、人員配置の適正化、宣伝広告のデジタルシフト、物流の効率化等により抑制を図りました。

その結果、小売事業の売上高及び営業収入は130,189百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は4,922百万円(前年同期比12.6%増)となりました。

②卸売事業

卸売事業におきましては、前年下期に行った価格改定と取扱い商品の見直しにより売上総利益率が改善した結果、売上高及び営業収入は2,363百万円(前年同期比8.5%減)、営業利益は350百万円(前年同期比997.2%増)となりました。

③外食事業

外食事業における主力のとんかつ専門店「かつや」(国内)におきましては、店舗のDX化の推進に加え、7回のフェアメニューを実施いたしました。その結果、1～6月の既存店売上高前年比は直営店において105.7%と好調に推移いたしました。出退店につきましては、直営店2店舗、FC店8店舗の出店により、6月末の店舗数は純増10店舗の482店舗となりました。

からやま・からあげ縁(国内)につきましては、グランドメニューの改定に加え、6回のフェアメニューと1回のキャンペーンを実施いたしました。出退店につきましては、「からやま」直営店2店舗、FC店1店舗の出店、FC店4店舗の閉店、「からあげ縁」FC店2店舗の出店、FC店1店舗の閉店により、6月末の店舗数は増減なしの161店舗となりました。

以上の結果、売上高及び営業収入は26,624百万円(前年同期比7.7%増)、営業利益は3,236百万円(前年同期比29.9%増)となりました。

④不動産事業

当社の不動産事業は、主に当社が開発した店舗のテナント賃料を収入源としています。

これらの店舗には、核として当社が運営するホームセンターが出店しており、家電量販店、スーパーマーケット等のテナントを誘致し併設することで、相互送客の効果が生まれ、安定した収益を確保しつつ、店舗の集客力を向上させています。

当中間連結会計期間においては前年6月に開業したアークスクエア御経塚の影響により営業収益が増加したものの新規出店による初期費用等の影響があり、売上高及び営業収入は6,708百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は1,632百万円(前年同期比15.4%減)となりました。

⑤その他

その他にはフィットネス事業「JOYFIT」5店舗及び「FIT365」5店舗を含んでおります。

今年5月にFIT365ムサシ金沢店を出店した影響により、売上高及び営業収入は500百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益は34百万円(前年同期比20.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①連結財政状態の概況

(総資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比較して10,801百万円増加し、361,523百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,621百万円、受取手形及び売掛金が1,408百万円、有形固定資産が7,341百万円増加したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比較して5,454百万円増加し、239,365百万円となりました。これは主に買掛金が6,730百万円、長短期借入金が1,466百万円増加し、電子記録債務が4,593百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比較して5,347百万円増加し、122,158百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益により利益剰余金が5,054百万円増加したことによるものです。

②連結キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して1,617百万円増加し、19,930百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、13,844百万円(前年同期は7,156百万円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前中間純利益9,733百万円、減価償却費5,323百万円、仕入債務の増加額1,930百万円、法人税等の支払額4,120百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、11,616百万円(前年同期は5,997百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出11,078百万円、無形固定資産の取得による支出1,226百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、652百万円(前年同期は1,029百万円の獲得)となりました。これは主に長期借入れによる収入30,000百万円、短期借入金の純減額25,000百万円及び長期借入金の返済による支出3,534百万円、配当金の支払額1,246百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想につきましては、2024年4月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,323	19,945
受取手形及び売掛金	9,560	10,969
商品及び製品	52,840	52,248
その他	4,746	6,001
貸倒引当金	△29	△116
流動資産合計	85,441	89,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	95,781	97,995
土地	76,049	79,002
リース資産(純額)	17,805	17,591
その他(純額)	4,982	7,371
有形固定資産合計	194,618	201,960
無形固定資産		
のれん	17,308	16,875
商標権	7,906	7,670
その他	7,227	7,516
無形固定資産合計	32,443	32,062
投資その他の資産		
投資有価証券	12,051	12,448
敷金及び保証金	22,825	22,709
その他	3,360	3,345
貸倒引当金	△18	△51
投資その他の資産合計	38,218	38,452
固定資産合計	265,280	272,475
資産合計	350,721	361,523
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,083	23,813
電子記録債務	13,751	9,157
短期借入金	34,000	9,000
1年内返済予定の長期借入金	10,068	31,052
1年内償還予定の社債	—	100
リース債務	1,649	1,672
未払法人税等	4,717	4,067
賞与引当金	1,830	2,026
株主優待引当金	198	257
契約負債	578	706
資産除去債務	1	—
その他	13,030	15,164
流動負債合計	96,908	97,017
固定負債		
社債	100	—
長期借入金	84,881	90,363
リース債務	23,665	23,313
長期預り保証金	14,225	14,464
退職給付に係る負債	291	401
役員退職慰労引当金	180	180
資産除去債務	5,639	5,659
その他	8,019	7,966
固定負債合計	137,002	142,348
負債合計	233,911	239,365

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	11,312	11,312
利益剰余金	98,518	103,572
自己株式	△3,258	△3,274
株主資本合計	113,034	118,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,301	3,507
為替換算調整勘定	△59	7
その他の包括利益累計額合計	3,241	3,515
非支配株主持分	534	569
純資産合計	116,810	122,158
負債純資産合計	350,721	361,523

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	158,271	159,153
売上原価	99,964	99,186
売上総利益	58,307	59,966
営業収入		
賃貸収入	7,020	7,126
その他	81	107
営業総利益	65,409	67,200
販売費及び一般管理費	56,532	57,021
営業利益	8,876	10,178
営業外収益		
受取利息	27	25
受取配当金	115	126
仕入割引	211	52
為替差益	30	—
持分法による投資利益	117	121
その他	226	274
営業外収益合計	728	599
営業外費用		
支払利息	529	589
為替差損	—	14
その他	57	7
営業外費用合計	587	611
経常利益	9,017	10,166
特別利益		
固定資産売却益	2,556	3
その他	553	—
特別利益合計	3,109	3
特別損失		
固定資産除却損	27	12
店舗閉鎖損失	135	305
解体撤去費用	57	33
貸倒引当金繰入額	—	81
その他	8	3
特別損失合計	230	436
税金等調整前中間純利益	11,897	9,733
法人税、住民税及び事業税	4,636	3,518
法人税等調整額	△548	△98
法人税等合計	4,087	3,420
中間純利益	7,809	6,313
非支配株主に帰属する中間純利益	799	34
親会社株主に帰属する中間純利益	7,010	6,278

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	7,809	6,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	205
為替換算調整勘定	49	62
繰延ヘッジ損益	△26	—
持分法適用会社に対する持分相当額	5	5
その他の包括利益合計	5	273
中間包括利益	7,815	6,586
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7,001	6,551
非支配株主に係る中間包括利益	814	35

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	11,897	9,733
減価償却費	5,341	5,323
のれん償却額	767	767
賞与引当金の増減額(△は減少)	205	151
受取利息及び受取配当金	△142	△151
支払利息	529	589
固定資産売却損益(△は益)	△2,556	△2
売上債権の増減額(△は増加)	116	△711
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,054	578
その他の資産の増減額(△は増加)	271	△812
仕入債務の増減額(△は減少)	2,285	1,930
その他の負債の増減額(△は減少)	△2,209	520
その他	△530	464
小計	10,920	18,379
利息及び配当金の受取額	131	142
利息の支払額	△518	△557
法人税等の支払額	△3,376	△4,120
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,156	13,844
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,230	△11,078
有形固定資産の売却による収入	5,146	9
無形固定資産の取得による支出	△475	△1,226
敷金及び保証金の差入による支出	△85	△403
敷金及び保証金の回収による収入	157	62
預り保証金の受入による収入	291	521
預り保証金の返還による支出	△113	△127
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	574
その他	311	51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,997	△11,616
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,850	△25,000
長期借入れによる収入	48,250	30,000
長期借入金の返済による支出	△42,500	△3,534
リース債務の返済による支出	△844	△856
配当金の支払額	△811	△1,246
非支配株主への配当金の支払額	△214	—
その他	—	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,029	△652
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	43
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,210	1,617
現金及び現金同等物の期首残高	23,818	18,313
現金及び現金同等物の中間期末残高	26,028	19,930

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2023年3月1日 至2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	調整額 (注)3	中間連結 損益計算書 計上額 (注)4
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
営業収益(注)1								
(1) 外部顧客への営業収益	130,942	2,583	24,715	6,648	164,889	483	—	165,373
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	2	3,552	—	793	4,348	—	△4,348	—
計	130,945	6,135	24,715	7,441	169,238	483	△4,348	165,373
セグメント利益	4,369	31	2,490	1,929	8,821	43	11	8,876

(注) 1. 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

3. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自2024年3月1日至2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	調整額 (注)3	中間連結 損益計算書 計上額 (注)4
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
営業収益(注)1								
(1) 外部顧客への営業収益	130,189	2,363	26,624	6,708	165,886	500	—	166,387
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	2	3,070	—	941	4,014	—	△4,014	—
計	130,191	5,434	26,624	7,650	169,901	500	△4,014	166,387
セグメント利益	4,922	350	3,236	1,632	10,141	34	2	10,178

(注) 1. 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

3. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

事業・部門・品目別販売実績

(単位：百万円、%)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)		当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)		増減		(参考) 2024年2月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
卸売事業	2,583	1.6	2,363	1.4	△219	△8.5	4,922	1.5
小売事業	130,942	79.2	130,189	78.3	△753	△0.6	253,862	78.1
ホームセンター部門	126,086	76.2	125,577	75.5	△509	△0.4	244,225	75.1
建築関連資材・用品及 びDIY関連用品	43,076	26.0	43,034	25.9	△42	△0.1	84,345	25.9
リフォームサービス	7,055	4.3	6,560	3.9	△495	△7.0	14,027	4.3
家庭用品	36,739	22.2	37,083	22.3	343	0.9	73,824	22.7
カー・レジャー用品	12,730	7.7	12,893	7.7	163	1.3	24,384	7.5
園芸用品	13,562	8.2	13,162	7.9	△400	△3.0	22,079	6.8
ペット	12,266	7.4	12,061	7.3	△204	△1.7	24,301	7.5
その他	655	0.4	781	0.5	126	19.3	1,263	0.4
その他小売部門	4,855	3.0	4,611	2.8	△243	△5.0	9,637	3.0
外食事業	24,715	14.9	26,624	16.0	1,908	7.7	51,813	16.0
不動産事業	6,648	4.0	6,708	4.0	60	0.9	13,359	4.1
その他	483	0.3	500	0.3	16	3.5	963	0.3
連結営業収益	165,373	100.0	166,387	100.0	1,013	0.6	324,921	100.0

(注) 1. 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2. ムサシ・ビバホームのシステム統合及び品揃えの見直しに伴い、当中間連結会計期間から小売事業における品目区分の分類を変更いたしました。

なお、前中間連結会計期間及び2024年2月期についても分類変更後の金額及び構成比を記載しております。